

日本聖公会横浜教区 信徒神学校 第26期

特別講演会

キリスト教徒はなぜ歌うのか

～礼拝の中の数々の歌について～



一聖書の言葉を歌う伝統はキリスト教以前のユダヤ教時代にさかのぼります。そして私たちの時代では、カトリック、プロテスタントを通じて、広く行われています。そこで、宗教改革前から現在に至るまで西洋の教会で用いられてきた歌について、音源などを通して、楽しく学んでみませんか。

講師 スコット・ショウ 氏

アメリカ・ワシントン州スポケーン出身。シアトルのワシントン大学においてオルガンとハーブシコードを学ぶ。ニューヨーク州、ロチェスターのロチェスター大学イーストマン音楽院にてオルガン、合唱指揮法、音楽史を学び1987年に修士号、1991年に演奏博士号を取得。1989年から2002年まで長崎活水女子大学音楽学部教授、同大学及び短期大学チャペルオルガニストを勤める。アメリカ、イギリス各地及び、日本国内ではソロオルガン・リサイタルを行う。指揮者としては、特に英国教会音楽の聖歌隊宗教音楽を専門とする。16～21世紀に至る作品を立教大学チャペル聖歌隊の活動を通して研究、演奏する。現在、立教学院教会音楽ディレクター・諸聖徒礼拝堂聖歌隊隊長、および立教大学文学部キリスト教学科教授。立教大学教会音楽研究所所長。



横浜教区ホームページから動画配信します。

URL : <https://anglican.yokohama/>

配信期間 : 2021年3月19日(金)から27日(土)まで

質疑応答 : 2021年3月20日(土)15時から Zoomで実施

神学校の受講者以外で、質疑応答に参加される方は、3月18日までに
横浜教区教務所(shuumu@anglican.yokohama) にメールでご連絡下さい。